

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第19号 平成19年 8月27日

牧野好投 2安打5三振 救援竜もノーヒット3三振

嬉しい初戦突破！打線復活？



8月25日チャンピオンシップ1回戦を久々にホームで行った。久し振りに見る大黒は非常に綺麗に見え、この日のゲームに花を添えてくれた、そんな気持ちにさせてくれた。今日の先発は、初先発になる牧野、この牧野は前試合にて、大輪を予感させるピッチングを見せただけに、今日のピッチングが非常に楽しみであると共に、今日の鍵を握っていると言っても過言では無い。初回の立ち上がりは2三振と文句無しの立ち上がり、四球を一つ出すものの、乱れる事無く、後続を内野ゴロに打ち取り、好発進を切った。後攻の我がチーム打線は、最近非常に波があり、これもまた、当然勝利への鍵を握っている事は言うまでも無い。1番から3番まではほぼ固定となっている打線において、先頭打者の翼の出塁が勝利への方程式である。四球を選んだ翼が空かさず盗塁を決め、2番政司が綺麗にライト前に運び先制点を挙げた。後続が四球、野手エーと1アウト満塁の絶好のタイミングで、渋谷がレフトフェンスにワンバウンドで当たる2点タイムリーを放ち、中富・泉もこれに続き一挙5点を挙げ、終始リードでのゲーム運びとなった。3回を終え、1安打5三振と素晴らしいピッチングを見せていた牧野であったが、4回急に制球を乱し、3四球、1三塁打を浴びたところで、後続の竜にマウンドを任せた。後続を任された竜は、失点こそ与えたものの、2三振を奪取し、苦しい場面を乗り越えた。何となく良い展開であった中で、イージーエラーが3個、野手交錯が1回、不必要な進塁が1回と普段に無いまづい面も顔出した。野球は流れの有るゲーム・人数が必要なゲームである。暑い中でのゲームがまだ続くが、このイージープレーが暑さからの災いであったと思っていたい。